

どのような基準で学業成績の結果を出したか。【自然科学系】

授業出席、授業参加状況、課題提出レポート等2件、試験(論述)について、各々点数化し、合算する。

授業への出席、授業時の課題(プリントへの記入)、および、期末レポートに基づく。

大人数のため、授業に対する積極性を各学生についてきめ細やかに評価するのは難しい。そのため、毎回ミニレポートを提出してもらい、その内容をある程度成績に反映させている。また、大きな課題を3つ用意し(①オリジナルの宇宙カレンダーの作成、②JAXAのHPにある資料・教材を参考にした天文・宇宙に関する理科教材の作成、③天文・宇宙に関するオリジナルの理科教材または何らかの作品の制作)、その課題に対する取り組み・出来栄え・オリジナリティなどでメインの素点を決めている。

1. 自己で調査した内容のレポート2. 顕微鏡観察の際のスケッチ3. 出席と授業態度4. グループ発表の内容5. グループディスカッションの内容についてのレポート

出席率、受講態度(60%)および最終課題(40%)を合算して成績を決めた。

授業で教えたことが使えるようになっているかを評価する。

課題(レポート、工作)を5つほど用意し、それらの達成具合で評価

この授業では、評定項目(科学的にを認識する能力、個別の調査に基づいて調べた内容を他人にわかりやすく伝える能力、報告書作成における論理的な文章作成能力)をそれぞれ評価し、すべてを合計して評点とした。

出席、レポート、試験結果を総合的に判断した。

講義中に課した課題(サクラエビのスケッチ)と校外学習時に課した課題(名古屋港水族館・東山動物園)の取り組み状況で基礎点を算出し、欠席状況により減点を行った。

成績は期末試験、出席点、課題、模擬授業のパフォーマンスを総合して算出した。模擬授業のパフォーマンス評価には、班ごとの相互評価など学生の視点も含めている。

出席回数と、毎回の授業で提出された小テストによって評価した。

毎回の課題の提出状況(30点)、定期試験(70点)の総合評価